

26 ふじ香る東海道を朝日まで

(桑名市 馬道駅～町屋橋)



① 有王塚・俊寛塚

平家討伐の謀議が洩れて鬼界が島に流罪、没した俊寛僧都の遺骨を高野山に納めるために諸国を行脚していた侍童有王は、走井山近くにあったリン宗寺前で落命したと伝えられ、ここに有王の供養塚がある。また、益生駅の南西に俊寛僧都の遺骨を埋めたと伝える塚が建てられている。

② 町屋御用水

寛永3年(1626)町屋川から取水した上水道、町屋御用水が建設され、各所の水汲み井戸に貯められ、生活用水として提供。現在も農業用水として活用。

③ 了順寺

浄土真宗本願寺派。永禄10年(1567)織田信長の軍勢に敗れた桑部城主毛利秀重の孫秀元が出家、のち准如聖人に帰依し、法名恵秀と改め開基。山門は桑名城の遺物と伝わる。

④ 城南神社

古くは神明宮と称されたが、明治41年(1908)旧城南村各大字にあった神社を合祀して城南神社と改称。伊勢神宮の遷宮の時、内宮の一の鳥居、古殿社の一部を下賜。昭和30年(1955)合祀された各社は旧社地に分祀。

⑤ 久波奈新撰館 (桑名まちかど博物館)

館長作現在アート、古今東西の古美術、鋳物工芸品を展示。

⑥ ろっ石陶芸館 (桑名まちかど博物館)

古萬古・有節萬古・有田焼・常滑焼や館長の作品を展示。

① 有王塚・俊寛塚



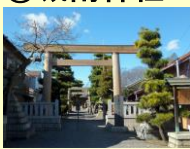
② 町屋御用水



③ 了順寺



④ 城南神社



⑤ 久波奈新撰館



⑦ 晴雲寺



⑥ ろっ石陶芸館

⑧ すし清



⑨ 金光寺

⑦ 晴雲寺

真宗大谷派。大永2年(1522)桑名東城主伊藤武左衛門の一族、明西が出家して開基。江戸時代、関東へ向かう大名はここで衣服を改め桑名城下に入ったといわれる。

⑧ すし清

料理旅館「すし清」は安政3年(1856)に茶店として創業。樹齢250年以上といわれる藤がある。向かいの伊勢両宮常夜燈は、文政元年(1818)桑名や岐阜の材木屋の寄進によって建立された。

